

「食」を通じたつながりやふれあいを大切に

10

子ども食堂へ秋の味覚等提供

当JA農政対策推進協議会は10月17日、チャーチ・オブ・ゴッド酒田キリスト教会を訪問し、日本将棋連盟庄内支部と酒田キリスト教会が主体となり運営を行う「青空将棋こども食堂」へ、管内産のシャインマスカットとJAグループ山形オリジナル食食用ランチョンマット等を提供しました。



▲波谷佐一常務より青空将棋こども食堂へ食材等の贈呈を行いました

同子ども食堂は「子どもたちに安心して集える居場所を」という思いから、今年の5月より活動を開始。地元のボランティアや団体の協力を得ながら、食事の提供や将棋教室などを開いて交流を深め、「食」を通じた地域の人々とのつながりやふれあいを大切に活動を行っています。

酒田キリスト教会の齋藤航大牧師は「子ども食堂運営を開始してからまだ半年ほどであるため、手が回り切れていない部分もあるかもしれないが、旬の食材や美味しい食事を食べながら、家や学校などのほかに第3の居場所として気軽に訪れることのできる、温かい場所になってほしい」と話しました。

同協議会はJAグループ山形の「子どもの居場所づくり」サポートプロジェクトや合格祈願米の寄贈など地産地消と地域農業への理解促進に取り組んでいます。